

令和元年度

南アルプス市教育委員会
点検及び評価報告書

【平成30年度事務事業分】

令和元年8月

南アルプス市教育委員会

目 次

I 点検及び評価について

- 1 趣旨 1
- 2 点検及び評価の対象とした事務 1
- 3 評価の点数表 1

II 点検及び評価のまとめ

- 1 教育委員会の活動に対する点検及び評価 2
- 2 教育委員会事務局の事務事業に対する点検及び評価 2

III 教育委員会の活動についての点検及び評価

- 1 教育委員会の活動状況 7
- 2 教育委員会の活動に対する点検及び評価 13

IV 教育委員会事務局の事務事業についての点検及び評価

- 1 教育委員会事務局の事務事業について 16
- 2 第2次南アルプス市総合計画 体系（教育委員会関係抜粋） 16
- 3 南アルプス市の教育振興プラン 体系（抜粋） 17
- 4 教育委員会事務局の事務事業に対する点検及び評価について 18

I 点検及び評価について

1 趣 旨

南アルプス市教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の報告書を作成し、南アルプス市議会に提出するとともに、市民の皆様に公表をしています。

これは、教育委員会の責任体制を明確化するため、平成 19 年の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正において義務付けられたものです。

南アルプス市教育委員会では、自らが点検及び評価を行った結果を、今後の事務の執行に反映し、効果的な教育行政を推進してまいります。

2 点検及び評価の対象とした事務

(1) 教育委員会の活動に関する点検及び評価

委員自らが教育委員会活動の内容を振り返り、評価を行った上で評点し、意見を記載しました。

(2) 教育委員会事務局の事務事業についての点検及び評価

南アルプス市では南アルプス市総合計画の進行管理を行うための手法として、行政評価システムを取り入れ、すべての事務事業に対して「事務事業マネジメントシート」を作成し、内部評価を実施しています。

点検及び評価に関しては、この行政評価システムを活用し、南アルプス市教育委員会に属する事務事業の執行状況等について振り返り、取りまとめを行いました。また、平成 29 年 4 月に策定した「南アルプス市の教育振興プラン」との関連について、施策の体系にある 8 つの施策に該当する番号を事務事業ごとに表示しました。

ただし、事業選択や予算規模に自由裁量がない「国・県の制度による義務的事業」や「義務化されている協議会等の負担金に係る事業」については、対象外としました。

- | |
|-----------------------------------|
| ①事務事業総数：197事業 |
| ②点検及び評価した事務事業：146事業 |
| ③点検及び評価から除いた事務事業：51事業 |
| ※義務的事業及び義務化されている協議会等の負担金に係る事業を除く。 |

3 評価の点数表

評価の点数は、「5」から「1」までの5段階評価で行いました。

5	目的をはるかに超え達成、他への波及効果などが見られる。
4	目的以上に達成
3	目的どおり達成
2	目的までは達成できなかった。
1	目的までまったく達成できなかった。

II 点検及び評価のまとめ

1 教育委員会の活動に対する点検及び評価 (P13、2 (1)～P14、2(5)の5項目の平均)

平均評点：3.2

教育委員会定例会を12回、臨時会を1回開催しました。定例会では、条例等の制定改廃、重要案件の審議、教育委員会所管の各種委員会等の委員の選任を行いました。

教育委員会事務局業務では、教育委員会定例会や総合教育会議等で効率的な会議運営を図るため、出席者に対し、議案や資料を事前配布しました。

研修会等への参加や学校訪問では、教育行政課題への対応、学校現場の現状と課題の把握ができました。

2 教育委員会事務局の事務事業に対する点検及び評価

(1) 基本政策 : 1 安全でみどり豊かな人がつながるまちの形成

施策名 : 02 市民参加のまちづくり (P18、施策02の3事業の平均)・・・平均評点：3.0

「青少年対策事業」の国内交流・交流支援事業では、夏休みの期間を利用し、姉妹都市の児童生徒による交流を行いました。

北海道津別町との国内交流事業は、津別町の小学生から高校生までの児童、生徒の訪問団を受け入れ前年度津別町へ訪問した生徒及び榎形西小学校児童との交流を行いました。

東京都小笠原村との国内交流事業は、中学校1・2年生による訪問団派遣を行い、小笠原村の中学生との交流を行いました。

石川県穴水町との国内交流事業は、小学校6年生による訪問団派遣を行い、穴水町の小学生との交流を行いました。

(2) 基本政策 : 4 心豊かな人と文化をはぐくむまちの形成

施策名 : 19 生涯学習の振興 (P18～施策19の56事業の平均)・・・平均評点：3.0

「公民館運営」では、公民館の館長、主事が中心となり、地域の実情にあった公民館活動を実施しました。

また、「生涯学習推進事業」では、数多くの学習機会の提供や、自主的な学習の支援に努めました。今年度は市立美術館との共同企画など新たな講座を企画し受講者から好評を得ることができました。

「スポーツ推進委員運営事業」、「南アルプス市体育協会支援事業」では、スポーツ推進委員及び市体育協会への支援により各種のスポーツ教室と大会が開催され、多くの市民が参加しました。

「体育施設整備事業」では、市内7施設の小・中学校等のグラウンド照明をLEDの照明に交換しました。また、榎形北体育館や榎形西体育館の改修工事を実施したことで、利用者が安全に使用できると考えています。

「各種社会教育施設」では、直営施設及び指定管理者制度導入施設ともに、効率的な管理運営に努めました。

「市立図書館」では、「ブックスタート」「おはなし会」など、子どもたちが小さいときから読書に親しみ、読書習慣を身につけられるような定期的事業のほか、「子ども講演会」「図書館クイズラリー」などを展開しました。また、ブックスタート事業の発展として、小学校新入学児童に本を手渡す活動「セカンドブック事業」を継続し、秋の読書週間中に市内小学校1年生全員に本を贈ることができました。

一般向けには、「講演会」「シニア講座」「教養講座」「生活支援講座」などを開催し、市民の幅広いニーズを支援しました。ふるさと人物室では、南アルプス市にゆかりのある人物の企画展や講演会を行い、ふるさと教育の推進を図りました。

白根生涯学習センター・白根桃源図書館は、生涯学習センター機能と図書館機能を合わせ持った複合施設として平成30年7月5日に新設オープンしました。より快適な機能を充実させ市民が利用しやすい読書環境となり、新たな生涯学習の拠点施設として生まれ変わりました。

市立美術館では、施設のバリアフリー化や市民ギャラリー、研修室を整備する改修工事を実施し、平成31年1月にリニューアルオープンをしました。

リニューアルのオープニング企画として「ピカソ展」を開催しました。会期中には市内中学校美術部創作部との合同企画も実施し、関連イベントも含めて2万人を超える来館者があり、多くの皆様が芸術・文化を親しむ機会となりました。

(3) 基本政策 : 4 心豊かな人と文化をはぐくむまちの形成

施策名 : 20 歴史・伝統文化の振興 (P24～施策20の21事業の平均) ・ ・ 平均評点 : 3. 1

「文化財の保護」では、所有者・管理者への適切な助言や補助事業の実施などでこれに努める一方、「教育普及事業」を実施し、実施回数240回、参加延べ人数11,255人を数えました。内訳は小中学校等に出向き授業を行った回数が155回、教職員向けの研修が15回、その他一般向けの講座等が70回でした。

「埋蔵文化財」では、市域における公共事業や民間開発と調和した遺跡の保護を図るために、適時適切な試掘確認調査等の実施に努めました。また、平成30年5月には、本市を含む長野・山梨両県の縄文文化が「星降る中部高地の縄文世界」として日本遺産に選定されました。これを受け、その構成資産でもある市内出土の重要文化財、鋳物師屋遺跡出土「円錐形土偶」のキャラクター「子宝の女神 ラヴィ」を多方面に展開するなどして、その周知を図りました。

「ふるさと文化伝承館」では、大規模改修事業を実施し、老朽化した施設のリニューアルを図り、展示内容の見直しも実施しました。また、老朽化した文化財調査事務所を解体し、そこに収蔵されていた文化財については、新たに旧若草町役場庁舎に収蔵施設を整備して収蔵し、保管環境の向上を図りました。また、工事に伴い6月18日から閉館したため、ふるさと文化伝承館の入館者数は、平成29年度の7,101人に対し、2,044人となりました。

「安藤家住宅管理運営事業」、「同イベント事業」では、重要文化財としての「安藤家住宅」の価値を損なわないよう適切に管理しながら、地域文化発信の拠点として利用してもらえるよう活用を図りました。イベントの内容を精査し、その周知に注力した結果、平成30年度の入館者数総数は5,361人を数え、前年度比20%増となりました。

「ふるさと〇〇（まるまる）博物館推進事業」では年次計画に基づき、今年度は、白根地区を集中調査地区として、古文書、建造物、そして地域でのオーラルヒストリ（口承）の採取などを行い精力的に活動しました。また、12月には、オープニングセレモニーを開催するとともに、これに合わせ東京大学渡邊英徳研究室と共同研究してきた「デジタルアーカイブ」をインターネット上に公開し、その運用をはじめました。

社会教育団体に認定された地域の伝統文化活動への支援により、伝統芸能等の伝承・保存、本市を発祥とする小笠原流礼法の普及推進に寄与しました。

今年度は昨年度より実施保育所等を増やす中で市内保育所等の年長児を対象に10施設12クラスで計2回ずつ、あいさつなどの道具を使わない初歩的な礼法を実施しました。

(4) 基本政策 : 4 心豊かな人と文化をはぐくむまちの形成

施策名 : 21 学校教育の充実 (P26～施策21の57事業の平均)・・・平均評点: 3.0

「育英奨学会事業」では、適正な事務の執行に努め、目的に合致した奨学生の選考を行いました。

「芦安小中一貫学校整備事業」では、芦安小学校と芦安中学校を渡り廊下で接続するための設計を行いました。

「小学校施設設備整備事業」では、市立15小学校の既存施設・設備の維持管理や、環境改善のための改修及び更新を行いました。

「空調設備設置事業（小学校施設）」では、小学校14校の特別教室にエアコンを設置するための設計を行いました。

「非構造部材耐震化事業」では、若草南小学校の校舎と屋内運動場及び豊小学校屋内運動場の天井の改修や照明器具の落下防止、ガラス飛散防止等の工事を実施しました。

「小学校施設防犯カメラ設置事業」では、小学校14校に防犯カメラ・液晶モニター・レコーダーを設置する工事を実施しました。

「落合小学校校舎大規模改造事業」では、経年により発生する学校建物の損耗、機能低下に対する復旧措置及び建物の耐久性確保のための設計を行いました。

「楡形北小学校家庭科教室整備事業」では、センター方式により使用されなくなった給食配膳室を家庭科教室に整備しました。

「落合小学校屋内運動場改築事業」では、屋内運動場改築工事の完了により、使用されなくなった旧屋内運動場の解体撤去工事を実施しました。

「中学校施設設備整備事業」では、市立7中学校の既存施設・設備の維持管理や、環境改善のための改修及び更新を行いました。

「白根御勅使中学校改築事業」では、仮設校舎の解体工事とグラウンド整備工事を実施しました。

「中学校施設防犯カメラ設置事業」では、中学校6校に防犯カメラ・液晶モニター・レコーダーを設置する工事を実施しました。

「就学援助事業」においては、小中学校に通う経済的に恵まれない児童・生徒への適切な支援を行いました。

「市指定研究事業」では4つの指定校研究事業に取り組みました。1つ目の「学びの質を高める授業づくり推進事業」については、3校（楡形西小：2年目、甲西中：2年目、八田小：1年目）を指定校とし、児童・生徒がお互いの考えや表現を聴き合い、学び合う授業づくりについて研究を推進しました。2つ目の「南アルプス自然体験推進事業」については、ユネスコエコパークに認定されている芦安小・中学校を指定校とし、事業を展開しました。南アルプスの自然を舞台とした登山や各種の体験活動を実施し、ふるさとを愛する心や人間性を育む取組を行いました。3つ目の「いじめ・不登校未然防止推進事業」については、市内全小中学校でQ-U検査を実施し、学級状態の把握を行い、支援を必要としている児童・生徒への早期対応を図りました。4つ目の「小中学校における小笠原流礼法推進事業」については、師範を全小中学校に派遣し、礼法を取り入れた心の教育を推進するとともに、全小中学校で礼法に乗っ取った卒業証書授与式を行いました。

「市単講師派遣事業」では、34名の市単講師（内1名は事務職員）を小中学校へ配置し、多人数学級への対応、複式学級の解消、特別支援教育の推進、基礎学力の向上及び一人ひとりの特性に応じたきめ細かな指導の充実等を図りました。

「教育支援センター事業」では、学校へ登校することが困難な児童生徒が通う適応指導教室において、家庭や学校と連絡を取りながら学校復帰を目指して、学習支援、教育相談を行いました。

「外国語指導講師配置管理事業」では、小中学校にアドバイザー1名と11名のALTを配置し、「聞く・話す」ことを中心に指導を行い、児童生徒のコミュニケーション能力の向上を図ることができました。また、生の英語に触れる中で、他国の文化や外国語（英語）に親しみをもたせることや国際的な理解を深めることに努めました。

「小中一貫教育研究推進事業」においては、芦安地区、八田地区に協議会を設置し、小中一貫教育の在り方について協議し、理解を深める中で2地区に小中一貫校を設置しました。

「教育環境づくり」においては、「スクールガードリーダー事業」や地域ボランティアを活用した「学校応援団育成事業」に取り組み、児童・生徒の安全確保や教育活動全体の充実を図りました。

「学校給食費支援事業」では、小中学校へ3名以上の子どもが通っている保護者189名に対し助成を行いました。

「各学校給食」では、アレルギーマニュアルに基づき、児童・生徒のアレルギー食への対応を実施しました。給食費の未納については教育的配慮のもと、督促をしながら給食費の徴収を行いました。また、児童手当を受けていながら給食費を滞納している保護者からは同意を得た上で、児童手当からの徴収を行ないました。さらに3者懇談時に保護者との面談を行って、給食費の納付を促しました。

(5) 基本政策 : 4 心豊かな人と文化をはぐくむまちの形成

施策名 : 22 青少年の健全育成 (P31、施策22の9事業の平均)・・・平均評点: 3.0

「青少年対策事業」では、青少年育成南アルプス市民会議への支援、各支部子どもまつりへの支援、南アルプス市子どもクラブ指導者連絡協議会への支援を行い、地域、学校、家庭が連携する中で、心身ともに健やかな次代を担う青少年の健全育成を図りました。また、「成人式挙行事業」においては、桃源文化会館に661人の新成人を招き、成人の門出を祝いました。

地域や学校において、リーダーとして活躍できる子どもを育成する目的で開催している「ジュニアリーダー養成事業」においては、中・高校生を対象に月1回のリーダー研修を開催し、夏休みにはジュニアリーダーを中心に研修を計画し、新たなジュニアリーダー候補として小学6年生を加えてデイキャンプを実施し、52名の参加がありました。

Ⅲ 教育委員会の活動についての点検及び評価

1 教育委員会の活動状況

教育委員会は、教育行政の中立性・安定性を確保するため、地方公共団体の長から独立して設置されています。

平成27年4月1日施行の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」により現在、教育委員会の構成は教育長と5人の委員で構成しています。

(1) 教育委員会の定例会・臨時会

教育委員会は、原則として、毎月会議を開催しており、合議により教育行政の基本方針や重要事項などを審議し決定しています。

また、必要に応じて、随時、臨時会も開催しています。

○開催状況・・・定例会 12回、臨時会 1回

開催月日 (区分)	案件区分	件名
4月17日 (定例会)	その他	<ul style="list-style-type: none"> 指定学校変更の許可状況について 緊急連絡網について 南アルプス市教育委員会年間(前期)及び4・5月行事予定について
5月15日 (定例会)	議事	<ul style="list-style-type: none"> 南アルプス市奨学金貸与奨学生の決定について 南アルプス市生涯学習センター条例の一部改正について 南アルプス市生涯学習センター条例施行規則の一部改正について 南アルプス市公民館条例の一部改正について 南アルプス市立図書館条例の一部改正について 南アルプス市子どもの読書活動推進協議会委員の委嘱又は任命について
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 指定学校変更の許可状況について 市教委学校訪問について 南アルプス市教育委員会5・6月行事予定について
6月15日 (定例会)	議事	<ul style="list-style-type: none"> 南アルプス市中央公民館館長等の解職及び任命について 安藤家住宅運営委員会委員の委嘱について
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 指定学校変更の許可状況について 南アルプス市教育委員会6・7月行事予定について
7月10日 (定例会)	議事	<ul style="list-style-type: none"> 南アルプス市社会教育団体の認定について
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 指定学校変更の許可状況について 南アルプス市教育委員会点検及び評価報告書の作成について 南アルプス市教育委員会7・8月行事予定について

8月 2日 (定例会)	議事	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度使用中学校教科用図書（道徳）の採択について ・南アルプス市高齢者コミュニティーセンター条例の廃止について ・南アルプス市公民館条例の一部改正について ・南アルプス市芦安調理場条例の制定について ・南アルプス市芦安調理場条例施行規則の制定について
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・南アルプス市教育委員会点検及び評価報告書について ・指定学校変更の許可状況について ・南アルプス市教育委員会8・9月行事予定について
9月13日 (定例会)	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・南アルプス市教育委員会点検及び評価報告書について ・指定学校変更の許可状況について ・全国学力・学習状況調査について ・南アルプス市教育委員会9・10月行事予定について
10月10日 (定例会)	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・指定学校変更の許可状況について ・南アルプス市教育委員会年間予定表（後期）及び10・11月行事予定について
11月 1日 (定例会)	議事	<ul style="list-style-type: none"> ・公の施設の指定管理者の指定について
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・指定学校変更の許可状況について ・南アルプス市教育委員会11・12月行事予定について
12月13日 (定例会)	議事	<ul style="list-style-type: none"> ・南アルプス市立小中一貫校に関する規則の制定について
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・南アルプス市小中一貫教育推進基本方針（素案）について ・指定学校変更の許可状況について ・南アルプス市教育委員会12・1月行事予定について
1月10日 (定例会)	議事	<ul style="list-style-type: none"> ・指定学校変更の承認について（3件）
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・指定学校変更の許可状況について ・南アルプス市教育委員会1・2月行事予定について

2月 1日 (定例会)	議事	<ul style="list-style-type: none"> ・南アルプス市奨学金条例の一部改正について ・南アルプス市奨学金条例施行規則の一部改正について ・南アルプス市教育委員会事務局組織規則の一部改正について ・南アルプス市小中一貫教育推進基本方針について ・南アルプス市社会体育施設条例の一部改正について ・南アルプス市学校体育施設等の利用等に関する条例の一部改正について ・区域外就学の許可について（2件）
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・指定学校変更の許可状況について ・南アルプス市教育委員会2・3月行事予定について
2月27日 (臨時会)	議事	<ul style="list-style-type: none"> ・南アルプス市ふるさと人物室運営委員会設置要綱の廃止について ・南アルプス市立図書館条例の一部改正について ・南アルプス市立図書館条例施行規則の一部改正について
3月15日 (定例会)	議事	<ul style="list-style-type: none"> ・南アルプス市教育委員会事務決裁規程の一部改正について ・南アルプス市就学援助費支給要綱の一部改正について ・南アルプス市社会教育委員の委嘱について ・南アルプス市公民館運営審議会委員の委嘱について ・南アルプス市中央公民館、地区分館長及び主事の任命について ・南アルプス市スポーツ推進委員の委嘱について ・史跡御勅使川旧堤防（将棋頭・石積出）保存整備委員の委嘱について
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次南アルプス市教育大綱について ・指定学校変更の許可状況について ・南アルプス市教育委員会3・4月行事予定について

(2) 総合教育会議

総合教育会議は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」により、平成27年6月から開催しています。会議については市長が招集し、市長、教育長、教育委員の構成により、市長と教育委員会との対等な執行機関同士の協議・調整を行っています。

○開催状況・・・年 3回

開催月日	案件区分	件名
8月23日	協議事項	・南アルプス市教職員の多忙化改善の現状について ・第2次南アルプス市教育大綱の策定について
11月27日	協議事項	・第2次南アルプス市教育大綱の策定について
1月23日	協議事項	・第2次南アルプス市教育大綱の策定について

(3) 学校訪問

教育委員会では例年、5月～6月にかけて市立小中学校22校を訪問し、子どもの様子や教員の指導方法など、細やかに見て回っています。視察終了後は、学校側と意見交換を行い、課題があれば改善するよう助言などを行っています。

(4) 研修会等への参加

教育委員会では、各種研修会、総会及び大会等に積極的に参加し、教育行政に関する情報収集や各市町委員との意見交換等を行い、各自の資質向上に努めています。

1 中北地区教育委員会連合会

月日	件名	出席者
4月19日	平成30年度定期総会及び研修会	教育委員・教育長
7月28日	第1回理事会	教育長・教育長職務代理
2月7日	第2回理事会	教育長・教育長職務代理

2 山梨県市町村教育委員会連合会

月日	件名	出席者
7月26日	第1回理事会	教育委員
8月29日	県教育施策及び予算に関する要望書申入式	教育委員
10月24日	秋季研修会	教育委員・教育長
2月7日	第2回理事会	教育委員
2月15日	定期総会及び春季研修会	教育委員・教育長

3 県外研修

月日	件名	出席者
5月25日	関東甲信越静市町村教育委員会連合会定期総会並び研究大会（静岡県藤枝市）	教育委員・教育長
9月27日	中北地区教育委員会連合会 教育事情県外視察研修（東京都目黒区）	教育委員
11月15日	南アルプス市教育委員会県外研修（神奈川県箱根町）	教育委員・教育長

その他各種大会・行事への出席 ※全教育委員が出席対象のみ掲げております。

月日	件名
4月	市内小中学校入学式
4月8日	南アルプス桃源郷マラソン大会
5月24日	青少年育成南アルプス市民会議総会
7月5日	白根生涯学習センター・白根桃源図書館竣工式
9月20日	峡中・峡北地区合同地域教育フォーラム

月日	件名
10月28日	市制施行16周年記念式典
11月	市内一斉あいさつ運動（小中学校対象）
11月7日	芦安小中英会話科 学校説明会
11月15日	市子ども若者育成支援推進大会
11月22日	校内研究会（楯形西小学校）
11月26日	公開研究会（甲西中学校）
1月11日	市立美術館リニューアルオープン「ピカソ展」セレモニー
1月13日	成人式
1月23日	拡大校内研究会（八田小学校）
2月16日	市立美術館「白旗史朗展」オープニングセレモニー
2月27日	研究発表会・教育講演会
3月	市内小中学校卒業式

2 教育委員会の活動に対する点検及び評価

教育委員会としての自らの活動内容を「教育委員会の定例会議・臨時会」、「総合教育会議」、「教育委員会と事務局の連携」、「教育委員の自己研鑽」及び「学校・教育施設への支援」の5項目に分け、それぞれに点検項目を設け、教育委員自らがその目的に照らし、評価を行った上で評点し、意見を記載しました。

また、その他の意見シートにおいては、教育委員会事務局の活動の中で、特に気がついた点を記載しました。

(1) 教育委員会の定例会議・臨時会

点検項目	会議の開催回数	評点	3.0
実績	<ul style="list-style-type: none"> ○定例会 12回、臨時会 1回 ・教育委員会会議規則に基づき、定例会を毎月1回開催した。更に必要が生じたため、臨時会を1回開催した。 ・限られた時間の中、慎重且つ効率的な会議運営を図った。 		
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ①議案はいずれも慎重且つ効率的に審議を行った。 ②必要な会議の回数は確保されている。 ③臨時会は必要時に行われたが、1回程度で済み、教育行政が計画的に進められていると評価できる。 		

(2) 総合教育会議

点検項目	会議の開催回数	評点	3.0
実績	<ul style="list-style-type: none"> ○年3回 ・市長招集のもと会議を開催した。 ・市長と教育委員会の連携強化、協力体制による教育行政推進を図ることが可能となった。 ・教育行政の諸問題等について、限られた時間の中で、効率的な会議運営に努めた。 ・第2次教育大綱について協議を行った。 		
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ①教育行政の諸問題について、市長に直接聞いてもらうことは大変意義があると思う。 ②今年度は教育大綱についての協議が主であった。3回の協議でまとめられたことは事務局の苦労が多かったと思うが、効率的にできた。また、十分な時間を確保できたことで、多くの意見交換がなされた。 ③子どもたちを育てやすく、子どもたちが学びやすく、そして住みやすい市になっていくよう、これからも教育の向上を行政トップとの意見交換を通じて、対応を考えていただけるようになれば良いと思う。 		

(3) 教育委員と事務局との連携

点検項目	情報提供等	評点	3.3
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・議案や資料を事前に配布することで、会議等までの調査研究が可能となるよう、情報提供を行った。 ・会議日程についても、事前調整を図り、可能な限り出席できるよう綿密な連絡調整を行った。 ・参考文献等の情報提供についても、速やかに行った。 		
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ①会議資料等の事前送付や丁寧な議案説明により、慎重審議がなされた。 ②情報提供がしっかりなされていた。また、連絡、調整もできていた。 ③会議の日程など細かなところへも配慮していただき、事務局に感謝すると同時に、常に連携がとれていたと感じる。 ④定例会議における各担当者の報告により、教育委員会全体の流れがよく把握できた。 		

(4) 教育委員の自己研鑽

点検項目	研修会等への参加	評点	3.3
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会県外研修に参加した。 ・中北地区教育委員会連合会県外研修に参加した。 ・南アルプス市教育委員会県外研修に参加した。 ・その他 各種研修会、会議へ参加した。 		
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ①各種研修会等へ参加することで、教育委員としての知見を深める上で、大変有益であった。 ②各種研修会は、重要かつ喫緊の問題についての研修であり有益であった。 ③他の地域や学校の取り組みを学び、有益であった。 		

(5) 学校・教育施設への支援

点検項目	学校訪問	評点	3.5
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の小中学校 22 校の学校訪問を行い、各学校の特色ある学校経営の取組み状況を聴取した。 ・各教室の授業内容を視察し、給食の試食をする中で、学校現場との意見交換を図った。 		
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ①各学校が抱える課題、児童生徒の実態、教職員の指導力などを理解することができた。 ②各学校の様子を直接見ることができ、たいへん有益であった。 ③各学校とも、その地域の特色を取り入れた授業を工夫して展開している。 		

(6) その他の意見シート

意見	<p>①本市の教育行政はかなり充実していると感じます。さらに充実・発展することを願います。</p> <p>②老朽化してきている施設を順次改装し、リニューアルして有効活用していることは本市の文化向上のために必要だと思った。</p> <p>③各学校へのエアコン設置など、他市町村に先駆けて学校現場の課題に対処してくれる姿勢はとて有難い。今後も学校施設の継続的改修をお願いしたい。</p> <p>④美術館の特別企画展は、どれも素晴らしいものであり、文化を育むうえでその効果は期待できる。</p> <p>⑤文化財課による市の特色を生かした様々な企画は、郷土を知り、郷土への愛着を深めることに繋がっている。また、児童・生徒を対象とした校外学習は、他ではまねができない質の高い教育となっている。</p>
----	---

IV 教育委員会事務局の事務事業についての点検及び評価

1 教育委員会事務局の事務事業について

南アルプス市では、南アルプス市総合計画を策定し「自然と文化が調和した幸せ創造都市・南アルプス」という将来像を掲げています。教育委員会部門においては、この将来像の実現のため、二つの基本政策が設けてあります。

一つ目の基本政策を「安全でみどり豊かな人がつながるまちの形成」とし、その施策名を「市民参加のまちづくり」としております。

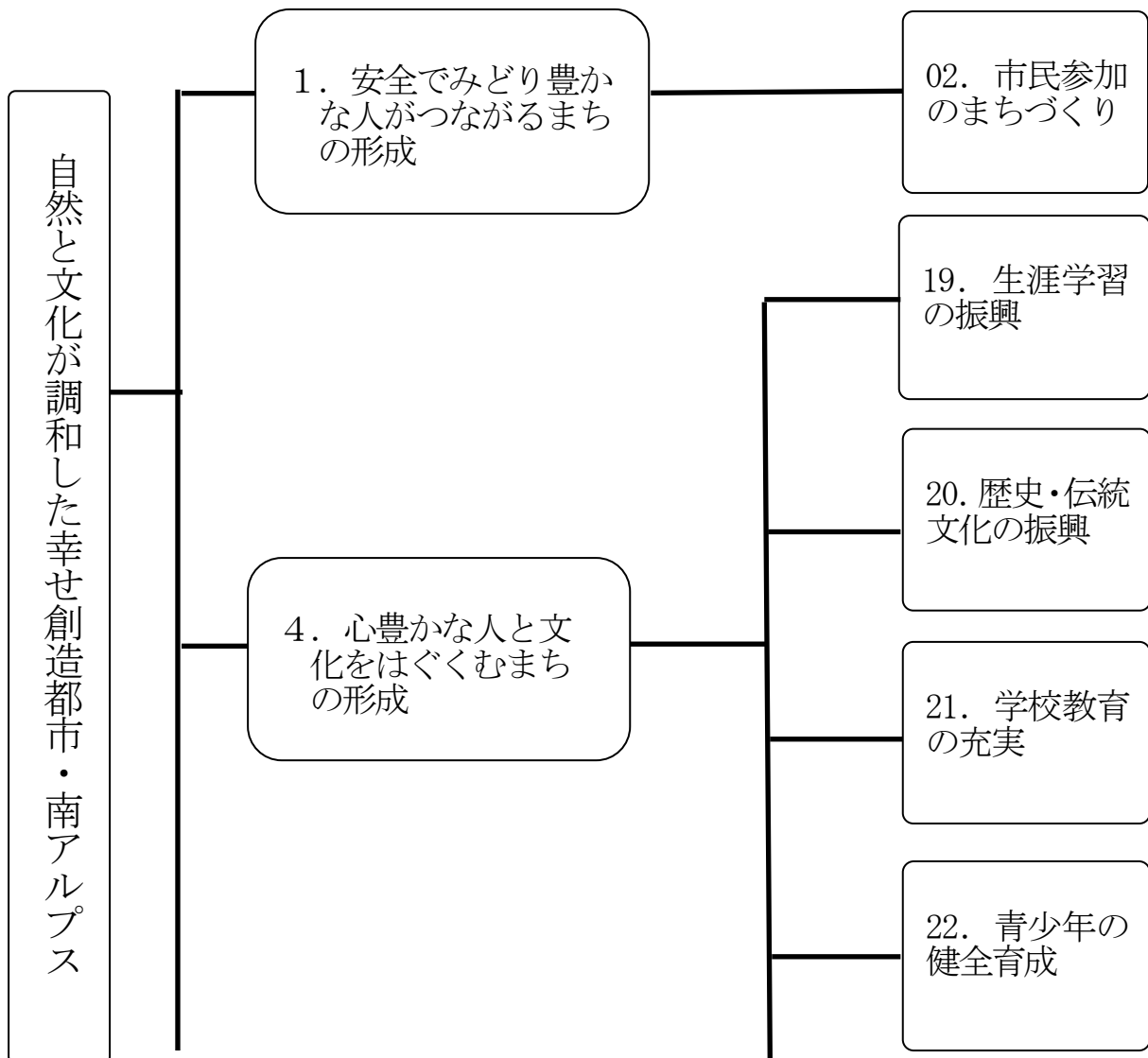
二つ目の基本政策は「心豊かな人と文化をはぐくむまちの形成」とし、その施策名を「生涯学習の振興」、「歴史・伝統文化の振興」、「学校教育の充実」、「青少年の健全育成」としています。

2 第2次南アルプス市総合計画 体系（教育委員会関係抜粋）

〔将来像〕

〔基本政策〕

〔施策名〕



3 南アルプス市の教育振興プラン 体系（抜粋）

目指す姿	基本目標	施策	施策の柱
<p>く生きる力を育み、ふるさとを愛する心を培う、南アルプスの教育</p> <p>南アルプス市の未来を創る人づくり</p>	<p>未来を切り拓く学校教育の充実</p>	<p>1 確かな学力の育成</p>	<p>① 個に応じたきめ細かな指導</p> <p>② 社会情勢に対応した教育</p> <p>③ 特別支援教育の充実</p>
		<p>2 豊かな心の育成</p>	<p>① ふるさと教育の推進</p> <p>② 道徳教育の充実</p> <p>③ 一人ひとりを大切にした教育・指導体制の充実</p>
		<p>3 健やかな体の育成</p>	<p>① 子どもの体力向上</p> <p>② 食育・健康教育の推進</p>
		<p>4 学びを支える環境の整備</p>	<p>① 教職員の資質・能力向上</p> <p>② 地域・家庭と連携した学校づくり</p> <p>③ 小中一貫教育の推進</p> <p>④ 学校教育施設・設備の整備・充実</p> <p>⑤ 経済的支援の充実</p>
	<p>文化の振興</p> <p>歴史・伝統</p> <p>郷土の</p>	<p>5 地域文化の継承とふるさと教育の推進</p>	<p>① 地域資源の保存・活用</p> <p>② ふるさと教育の推進</p>
	<p>生涯にわたる学習環境の整備・充実</p>	<p>6 生涯学習の推進</p>	<p>① 学習機会や情報の提供・充実</p> <p>② 学習の成果を活かす環境づくり</p> <p>③ 市民主体の活動支援</p> <p>④ 生涯学習拠点の整備</p> <p>⑤ 読書活動の推進</p>
		<p>7 子どもの成長を支える環境の整備</p>	<p>① 地域ぐるみで子どもを育む環境づくり</p> <p>② 青少年の健全育成の推進</p> <p>③ 放課後の子どもの居場所づくり</p>
		<p>8 スポーツ・レクリエーションの振興</p>	<p>① 生涯スポーツ活動の推進</p> <p>② 人材の育成と団体支援</p> <p>③ スポーツ施設の整備・充実</p>

4 教育委員会事務局の事務事業に対する点検及び評価について

(1) 基本政策 : 1 安全でみどり豊かな人がつながるまちの形成

施策名 : 02 市民参加のまちづくり (3事業)

所属 : 生涯学習課

事務事業名	評点	評価の視点	教育振興 プラン 施策番号
青少年国内交流事業 (津別町)	3	平成30年度は27人(小学生14人、中学生6人、高校生4人、引率3人)の受入で、平成29年度津別町へ訪問した生徒及び櫛形西小学校児童との交流。エコパ伊奈湖での自然体験プログラム等を通し津別町訪問団との交流の時間をもつことができた。	6
青少年国内交流・交流 支援事業(小笠原村)	3	平成30年度は中学生が19人参加。着衣水泳やウミガメ夜間パトロールボランティアなど山梨ではできない貴重な体験ができ、小笠原村への理解を深めることができた。	6
青少年国内交流・交流 支援事業(穴水町)	3	平成30年度は小学生が20人参加。ぼら待ち漁法体験や、能登の海の生態観察など山梨ではできない貴重な体験ができた。	6

(2) 基本政策 : 4 心豊かな人と文化をはぐくむまちの形成

施策名 : 19 生涯学習の振興 (56事業)

所属 : 生涯学習課

事務事業名	評点	評価の視点	教育振興 プラン 施策番号
公民館運営管理事業	3	公民館長、主事が中心となり、各地区の公民館活動を実施し、市民の文化向上を図る。平成30年度は1,891人の参加があった。史跡巡りなど各地区にあった多彩な事業を行うことができた。	6
白根中央公民館運営管理事業	3	生涯学習課管理施設として、効率的な管理運営に努めた。市の文化施設の利用しやすさを指標とし、否定的回答は11.3%となっており、施設の利用環境は充実している。	6
生涯学習推進事業	3	市民の学習機会の充実を図り、自主的な学習活動を支援する。講座42回を実施し、参加者988人であった。今年度は市立美術館との共同企画など新たな講座を企画し受講者から好評を得ることができた。	6
社会教育関係団体活動 支援事業	3	各地域の社会教育団体21団体に対し補助金を交付し、市民が積極的に社会教育活動に参画する事業。	6
八田高度農業情報センター 運営管理事業	3	生涯学習課管理施設として、効率的な管理運営に努めた。市の文化施設の利用しやすさを指標とし、否定的回答は11.3%となっており、施設の利用環境は充実している。	6

所属 : 生涯学習課

事務事業名	評点	評価の視点	教育振興 プラン 施策番号
若草生涯学習センター 運営管理事業	3	生涯学習課管理施設として、効率的な管理運営に努めた。市の文化施設の利用しやすさを指標とし、否定的回答は11.3%となっており、施設の利用環境は充実している。	6
甲西農村環境改善セン ター運営管理事業	3	シルバー人材センター等を活用し、効率的な管理運営に努めた。市の文化施設の利用しやすさを指標とし、否定的回答は11.3%となっており、施設の利用環境は充実している。	6
芦安高齢者コミュニ ティーセンター運営管 理事業	3	公共施設再配置の方針に基づき、老朽化のため、平成30年12月に取り壊し。調理場機能は旧芦安小中学校給食共同調理場を改修した芦安調理場に移行。	6
ふるさと天文館運営管 理事業	3	ボランティアグループにより、50cmの望遠鏡を使って天体及び天文現象等の観測及び解説を実施。利用者数443人となった。	6
楡形北地区農村環境改 善センター運営管理事 業	3	平成28年度から市直営施設として、放課後児童クラブを中心として子育て支援課による管理運営を行ったが、児童クラブ支援員の負担が多くなったため、平成29年度からは生涯学習課による管理運営を行うことになった。市の文化施設の利用しやすさを指標とし、否定的回答は11.3%となっており、施設の利用環境は充実している。	6
楡形西地区農村環境改 善センター運営管理事 業	3	平成28年度から市直営施設として、放課後児童クラブを中心として子育て支援課による管理運営を行なったが、児童クラブ支援員の負担が多くなったため、平成29年度からは生涯学習課による管理運営を行うことになった。市の文化施設の利用しやすさを指標とし、否定的回答は11.3%となっており、施設の利用環境は充実している。	6
南アルプス市働く婦人 の家運営管理事業	3	平成28年度から市直営施設として、放課後児童クラブを中心として子育て支援課による管理運営を行なったが、児童クラブ支援員の負担が多くなったため、平成29年度からは生涯学習課による管理運営を行うことになった。市の文化施設の利用しやすさを指標とし、否定的回答は11.3%となっており、施設の利用環境は充実している。	6
生涯学習指定管理施設 等維持補修事業	3	生涯学習施設の緊急修繕や維持補修事業。修繕14箇所、7,226千円を実施。	6
桃源文化会館運営管理 事業	3	市の文化施設の利用しやすさを指標とし、否定的回答は11.3%となっており、施設の利用環境は充実している。	6
桃源文化振興協会運営 支援事業	3	一般財団法人桃源文化振興協会の人件費補助事業である。	6
桃源文化会館施設整備 事業（大規模）	3	外壁、桃源閣の改修工事が終了し、平成30年11月から、営業を再開した。今後特定天井を含むホール内部やエアコンなどの動力系の改修工事を計画的に実施していく。	6

所属 : 生涯学習課

事務事業名	評点	評価の視点	教育振興 プラン 施策番号
市文化協会活動支援事業	3	(一財) 桃源文化振興協会へ事務を委託しており、各地区の文化団体(平成30年度108部1,773人、H29年度108部1,898人)に補助金を交付している。実績報告未提出の団体には補助金を不交付としているため、毎年前後している。生涯にわたって学習活動を行っている割合は29.4%(肯定、やや肯定)で、前年比1.3ポイント増となった。	6
スポーツ推進委員運営事業	3	スポーツ推進委員が行う教室、大会の参加者数を成果の指標とし、実施した。成果は平成29年度1,742人から平成30年度1,912人に170人、9.8%増加している。	8
南アルプス市体育協会支援事業	3	体育協会主催事業数を成果の指標とし、大会、教室を開催した。桃源郷マラソン大会、市駅伝大会他計11事業を実施した。	8
県外スポーツ大会出場支援事業	3	県代表として、県外大会へ出場する際の経費負担軽減のため、補助金を交付する。平成30年度は24件の申請があった。	8
南アルプス市ホームタウンゲームの活動支援事業	3	ヴァンフォーレ甲府の本市サンクスデーで特産品を配布しPRを実施した。また、山梨クィーンビーズのホームタウンゲームを開催し、ヴァンフォーレ甲府サンクスデーと同じく市のPRを実施した。	8
スポーツ大会等保険加入事務	3	各種スポーツ教室等の傷害保険に加入している。これまで大きな怪我や事故はない。	8
小中学校ホッケー指導者派遣事業	3	ホッケー大会参加者数を成果の指標とし、指導者を派遣した。平成28年度から小笠原小学校の新規参加があり、指導者を増員している。	8
市ホッケー大会運営事業	3	ホッケー競技の普及を成果の指標とし、大会を開催した。平成28年度から小笠原小学校の新規参加があり、参加者数が増加している。	8
全国スポ少ホッケー交流大会派遣・参画事業	3	市ホッケー大会の優勝校を全国大会へ派遣した。市の特色あるスポーツとして出場選手に全国レベルを体感してもらいホッケー競技への意欲と技術の向上を図っていく。	8
桃源郷マラソン大会活動支援事業	3	市内外からの参加者は7千人であり、マラソン大会は16回を数え定着してきている。	8
スキー・スノーボード教室開催事業	3	参加者数を成果の指標とし、初心者スキースノーボード教室を開催している。平成29年度は82人、平成30年度は78人が参加した。	8
社会体育施設指定管理事業	3	指定管理者に適正な管理運営を委託する事業で、社会体育施設等の利用者数は平成29年度603,078人、平成30年度587,637人で前年比2.6%減であった。原因はLED工事等で利用を休止したことが影響している。	8

所属 : 生涯学習課

事務事業名	評点	評価の視点	教育振興 プラン 施策番号
屋外照明施設LED化事業	3	小中学校グラウンド及び社会体育施設21施設の屋外照明を平成30年度までにLED化改修した。電気代、球替え等維持管理費を削減できると考える。平成30年度は7施設の工事を実施した。	8
白根生涯学習センター建設事業	3	新たな生涯学習活動の拠点施設を目指し、生涯学習センター機能と図書館機能を合わせ持った複合施設として平成30年7月に供用を開始し、多くの市民に利用されている。	6
甲西市民総合グラウンド機能回復事業	2	リニア建設工事に伴う甲西市民総合グラウンドの再整備に向け、土質調査を実施した。グラウンドの拡張予定地にある事業所の移転先の交渉が難航して、事業が進まなかった。	8
芦安高齢者コミュニティセンター解体事業	3	公共施設再配置の方針に基づき、平成30年12月に取り壊し。調理場機能は旧芦安小中学校給食共同調理場を改修した芦安調理場に移行。	6
芦安学校給食共同調理場改修事業	3	芦安高齢者コミュニティセンター解体に伴い、その調理室機能を移転するための改修工事で、平成30年11月に完成、供用開始。	6
楡形西体育館改修事業	3	体育館アリーナの全面張替え工事とバスケットゴールの更新を実施した。	8
楡形北体育館改修事業	3	国の基準に基づく非構造部材の耐震化等を実施する事業である。平成30年度は非構造部材耐震化工事を実施した。	8
八田農業者トレーニングセンター改修事業	3	国の基準に基づく非構造部材の耐震化等を実施する事業である。平成30年度は実施設計をした。	8
白根B&G海洋センター改修事業	3	平成29年度に更衣室及びトイレ等の排水設備から大規模な漏水が発生したため、平成30年度に給排水設備改修の実施設計及び工事を実施した。	8
甲西体育センター改修事業	3	経年劣化により屋根に発錆が無数にあり、長年雨漏りが発生しているためカバー工法により改修する事業である。平成30年度に実施設計及び工事を実施した。	8
芦安調理場運営管理事業	3	芦安高齢者コミュニティセンター解体に伴い、その調理室機能を移転した、芦安調理場の運営管理経費。平成30年11月から供用開始、社協のおやつ作り等に利用されている。	6

所属 : 市立図書館

事務事業名	評点	評価の視点	教育振興 プラン 施策番号
市立図書館運営事業	3	市立図書館の円滑な運営を行い、読書活動や学習活動を高めるため館内掲示や特集コーナーの充実を図った。また、ふるさと人物室を計画的に運営し、ふるさと教育の推進を図った。成果指標のレファレンス（調査相談）件数は6,767件で目標数値を上回った。	6
市立図書館資料提供事業	3	市内各図書館では、新聞39紙・雑誌363誌を市民に提供している。雑誌の貸出数は29,647冊で前年比2%減。インターネットからも最新情報を得られることが要因として考えられる。	6
市立図書館子どもの読書活動推進事業	3	おはなし会、図書館クイズラリー、環境講座、感想文おたすけ隊、詩を楽しむ会、子ども講演会等を実施し読書活動の推進を図った。白根(48日)と甲西(17日)の臨時休館もあり、成果指標である18歳以下の貸出点数は、84,014冊で前年比0.6%減となった。	6
図書館協議会運営事務	3	年3回、図書館協議会を開催し、市立図書館の運営について地域住民の声を反映させるとともに諮問に応じた。	6
図書館システム管理事業	3	定期的にシステム会議を実施し、図書館システムの安全な管理を行った。	6
図書館生涯学習推進事業	4	図書館講演会や定期的な朗読会のほか、シニア講座、教養講座、ボランティア養成講座、生活支援講座等多様な学習機会を提供し、生涯学習支援及び図書館利用の拡大を図った。大人を対象とする図書館事業参加者数は5,018人で前年比11%増となった。	6
ブックスタート事業	3	健康増進課で実施している4ヶ月児健診時に、市内で生まれた全ての赤ちゃんと保護者539人にブックスタートパックを配布した。「おはなし会0.1.2」の参加者は1,583人となった。平成29年度から開始した小学校新入学児童に本を手渡すセカンドブック事業は、市内全1年生596人に本を贈ることができた。	6
図書館資料購入事業	3	暮らしに役立つ資料及び地域資料等を市民に提供するため、選書会議を週1回行い、購入資料の検討により購入している。資料貸出総数は440,914冊で前年比1.4%増となった。	6
図書館事務研修事業	3	図書館の動向や資料情報を得て、図書館運営に反映させていくため、職員研修会に積極的に参加した。成果指標である研修参加者数は達成度100%となった。	6
楡形生涯学習センター管理事業	3	平成26年度から市の直営となり、効率的な管理・運営に努めている。あやめホールを中心に、利用者の満足度も高い。	6
図書館司書臨時職員配置事業	3	市立図書館の円滑な運営を図るために、司書臨時職員を配置し、効果的な図書館運営を行った。	6

所属 : 市立図書館

事務事業名	評点	評価の視点	教育振興 プラン 施策番号
白根桃源図書館移転事業	3	「白根生涯学習センター・白根桃源図書館」の建設に伴い、資料や備品の移転作業を行った。また、旧図書館閉架書庫にあった可動棚をわかくさと甲西に移設、再利用し、市内閉架書庫の充実を図り資料収蔵能力の向上に繋げることができた。	6
楡形生涯学習センター改修事業	3	あやめホールの舞台吊物設備及び舞台吊物電気制御部の改修工事を行った。竣工(平成11年)以来更新されていなかった操作盤・制御盤等は推奨更新年数が過ぎており、あやめホールの運営に影響を及ぼす恐れがあったが、改修工事を行ったことにより、市民の安全管理を継続することができた。	6
白根生涯学習センター運営管理事業	3	白根生涯学習センター・白根桃源図書館は、平成30年7月に新設オープンされ効率的な管理・運営に努めている。大小5つの研修室があり利用も多い。	6

所属 : 市立美術館

事務事業名	評点	評価の視点	教育振興 プラン 施策番号
美術館企画展事業	4	リニューアルオープンに伴う企画展事業として、「ピカソ」展を開催した。会期中は関連イベントの実施や週末における開館時間の延長など入館者の増加に努め、目標を上回る2万人を超える入館者があった。一方、駐車スペースや運営スタッフ不足といった課題も浮き彫りになった。企画展事業としては、引き続き質の高い展覧会を開催し、市民の文化意識を高めるとともに、入館者の増加促進を図っていく。	6
春仙美術館常設展	3	リニューアル工事により、常設展としては「白籬史朗」展のみの開催となったが、2千人以上の入館者があった。名取春仙はもとより、南アルプス市及び富士川流域にゆかりのある作家の展覧会も実施する中で、親しみがあり、芸術文化の楽しみを発見できる事業を展開していく。	6
市立美術館リニューアル事業	3	当初計画のとおり工事は完成し、平成31年1月にリニューアルオープンをする事が出来た。新たに整備した市民ギャラリーや研修室を円滑に運営していくためのマニュアルも作成する中で積極的に利用の促進を図っていく。	6

(3) 基本政策 : 4 心豊かな人と文化をはぐくむまちの形成

施策名 : 20 歴史・伝統文化の振興 (21 事業)

所属 : 生涯学習課

事務事業名	評点	評価の視点	教育振興 プラン 施策番号
夜叉神太鼓保存会活動 支援事業	3	地域の伝統芸能の保存と継承に努め、地域の交流を深めた。会員数は前年比1人増の12人。	6
甲州遠光太鼓保存会活 動支援事業	3	地域の伝統芸能の保存と継承に努め、地域の交流を深めた。会員数は前年比4人減の14人。	6

所属 : 文化財課

事務事業名	評点	評価の視点	教育振興 プラン 施策番号
文化財保護活用事業	3	近年の異常気象によるためか、樹木等天然記念物への対応件数が増えている。平成30年度は、十日市場の大ケヤキの幹が折れ、毀損したが、県と連携して適切に対応することができた。	5
文化財教育普及事業	4	実施した講座等の回数、参加人数を指標とし、達成率はそれぞれ26%増(240回)、32%増(11,255人)で高水準を維持している。	5
宝珠寺のマツ松くい虫 防除支援事業	3	同木が樹勢を保った年数を成果の指標とし、文化財所有者の行う松くい虫防除事業の補助を行った。合併後15年間木の状態は良好に保たれている。	5
鏡中条のゴヨウマツ松 くい虫防除支援事業	3	同木が樹勢を保った年数を成果の指標とし、文化財所有者の行う松くい虫防除事業の補助を行った。合併後15年間木の状態は良好に保たれている。	5
長谷寺の防災施設保守 点検支援事業	3	建造物が良好に維持された年数を成果の指標とし文化財防災施設保守点検事業の補助を行った。合併後15年間建造物は良好に保たれている。	5
文化財教育普及看板設 置事業	3	本年度は、下今諏訪の慈眼寺に安置される「木造薬師如来坐像」の説明板を1基新設した。	5
フィールドミュージアム ふるさと学芸員育成 事業	3	現在育成しているふるさと学芸員は2名。育成人数の実績値は100%である。平成30年度末で1名が卒業し、令和元年度から新たに1名の人材の育成が始められている。	5
埋蔵文化財調査受託事 業	3	民間開発に伴う発掘調査1件、市道建設に伴う発掘発掘調査2件を受託し、適切に記録保存措置が図られた。	5

所属 : 文化財課

事務事業名	評点	評価の視点	教育振興 プラン 施策番号
市内試掘確認調査事業	3	市内の遺跡の保護が図られた数を成果の指標とし、達成率は100%。試掘数は34件で前年度比10%の増加となった。	5
国指定史跡「御勅使川旧堤防」整備事業	3	平成29年度に策定した整備基本計画に基づき、平成30年度は、枳形堤防について、整備の際の基礎資料とするための確認調査（発掘調査）等を実施した。	5
ふるさと文化伝承館運営事業	3	大規模改修工事に伴い6月中旬から閉館した。そのため、入館者数は2,044人と、前年度比29%にとどまる。	5
安藤家住宅運営管理事業	4	イベントの周知や催事の精査を行った結果、入館者数は5,361人となり、前年度比20%増を記録することができた。今後とも来館者増を目指しながら、重要文化財そのものの価値を損なわないように適切に管理・運営していく。	5
安藤家住宅イベント開催事業	4	「秋祭り」をはじめ、多様なイベントを開催した。内容の見直しと、周知に注力した結果イベント期間の入館者数は550人となり、前年度比22%増を記録することができた。	5
ふるさと〇〇博物館推進事業	3	年次計画に基づき、白根地区の歴史的資源の掘り起こし作業を行った。また、12月にはオープニングイベントを実施し、合わせて東京大学の渡邊研究室と共同開発していた「デジタルアーカイブ」の公開を行った。着実に事業が進捗している。	5
芦安伝統文化継承事業	3	芦安地域の活性化の基礎となるよう、これまで実施してきた事業の成果を反映して、散策マップの改訂を行った。	5
ふるさと文化伝承館改修事業	3	ふるさと文化伝承館の永続的かつ、より高度な活用を目指し、大規模改修事業を実施し工期内に完了した。	5
甲西文化財調査事務所解体事業	3	公共施設再配置に伴う甲西文化財調査事務所の解体、旧若草町役場庁舎への収蔵設備の整備、また、これに伴う収蔵品移転を行い年度中に予定通り完了した。	5
伝統文化保存推進事業	2	伝統文化の継承について、より良い施策の立案と仕組みづくりを検討したが、方針の決定には至らず不執行となった。	5
旧白根桃源美術館維持管理事業	3	国の登録有形文化財である旧飯野産業組合倉庫（旧白根桃源美術館本館）の維持が適切に図られた。	5

(4) 基本政策 : 4 心豊かな人と文化をはぐくむまちの形成

(1) 基本政策 : 1 安全でみどり豊かな人がつながるまちの形成

施策名 : 21 学校教育の充実 (57事業)

所属 : 教育総務課

事務事業名	評点	評価の視点	教育振興 プラン 施策番号
教育長交際活動費	3	教育行政執行のため外部との交際上必要な経費である。内部基準に照らし、厳正に執行している。	-
教育委員活動事業	3	定例(臨時)教育委員会の開催。学校訪問及び教育研修など積極的に行い、知識向上を図った。	-
教育委員会事務局管理事務	3	公用車やコピー機等の管理やコピー用紙のリサイクルなど、無駄のない予算管理に努めた。	-
巨摩高校定時制教育振興会参画事業	3	本市のほか、富士川町、中央市や生徒の雇用主、同窓会等で組織され、生徒の部活動、校外活動などの支援を目的に負担金を支出した。	-
小林愛則育英奨学会支援事業	3	将来社会の中核となる人材を育成することを目的とし、高校3年間奨学金を給付している。平成30年度は7名へ奨学金の給付を行った。	4
芦安活性化対策育英奨学金貸付事業	3	芦安地区の過疎対策事業として育英奨学金貸付事業を行っている。平成30年度は5名へ奨学金の貸与を行った。	4
南アルプス市奨学金貸与事業	3	申請により高校生及び大学生の保護者に対し、要件審査を経て適正な事務処理により奨学金を貸与した。	4
小学校施設設備整備事業(単独)	3	学校からの修繕要望に対し、緊急度の高い施設から整備した。	4
落合小学校屋内運動場改築事業	3	これまで屋内運動場の改築を進めてきたが、建物が完成したので平成30年度は既存の屋内運動場を解体撤去した。	4
中学校施設設備整備事業(単独)	3	学校からの修繕要望に対し、緊急度の高い施設から整備した。	4
白根御勅使中学校改築事業	3	これまで校舎の改築を進めてきたが、建物が完成したので平成30年度は仮設校舎の解体撤去とグラウンドを整備した。	4
教育施設長寿命化計画策定事業	3	インフラ長寿命化基本計画に基づき、教育施設の長寿命化計画を策定する事業である。平成30年度は前年度行った実態調査をもとに、基本となる計画を策定した。	4

所属 : 教育総務課

事務事業名	評点	評価の視点	教育振興 プラン 施策番号
若草南小学校非構造部材耐震化事業	3	国の基準に基づく、非構造部材の耐震化を実施する事業である。平成30年度は工事を実施した。	4
豊小学校屋内運動場非構造部材耐震化事業	3	国の基準に基づく、非構造部材の耐震化を実施する事業である。平成30年度は工事を実施した。	4
甲西支所改修事業	3	甲西支所庁舎の老朽化に伴い、改修を行う事業である。平成30年度はエレベーター棟の増築、照明のLED化や空調設備等の改修を実施した。	-
小学校施設防犯カメラ設置事業	3	不審者の侵入防止や犯罪抑止対策として、設置済みの豊小学校を除く小学校14校に防犯カメラを設置した。	4
落合小学校校舎大規模改造事業	3	建築から33年が経過し、老朽化が進んでいるため大規模改造工事を行い、教育環境の整備を図る事業である。平成30年度は設計を実施した。	4
中学校施設防犯カメラ設置事業	3	不審者の侵入防止や犯罪抑止対策として、設置済みの白根御勅使中学校を除く中学校6校に防犯カメラを設置した。	4
楡形北小学校家庭科教室整備事業	3	給食センター方式により使用されなくなった給食配膳室を利用して家庭科教室を整備した。	4
芦安小中一貫学校整備事業	3	芦安小学校と芦安中学校を渡り廊下で接続して、小中一貫校としての施設環境を整備する事業である。平成30年度は設計を実施した。	4
空調設備設置事業（小学校施設）	3	小学校（14校）の特別教室にエアコンを設置し、児童・教職員の健康と避難所として良好な環境を整備する事業である。平成30年度は設計を実施した。	4

所属 : 学校教育課

事務事業名	評点	評価の視点	教育振興 プラン 施策番号
教育支援センター運営管理費	3	学校へ登校することが困難な生徒への学習支援・教育相談を行ってきた。保護者や学校と連携を図る中で、学校復帰・高校進学を目指して取り組んだ。また、臨床心理士による入所生徒や保護者へのカウンセリングを通して、生徒への支援を丁寧に行った。在籍者9名のうち、学校復帰4名、高校進学2名。	2
市単講師派遣事業	3	目標どおり34人の市単講師等を配置し、支援を必要としている児童生徒に対して、きめ細かな指導をすることができた。支援が必要となる児童生徒は増加傾向にあるので、市単講師の増員が課題である。	1
司書臨時職員配置事業	3	目標どおり13人の臨時職員を配置し、全ての学校に司書を配置することができた。今後も現状を維持し、学校図書館の有効活用を支援する。	4

所属 : 学校教育課

事務事業名	評点	評価の視点	教育振興 プラン 施策番号
用務員臨時職員配置事業	3	目標どおり芦安小中学校を除く学校に、児童生徒が快適に学校生活を送ることができるよう用務員を配置することができた。	4
学校図書館蔵書管理事業	3	学校図書館の蔵書とその貸出等をシステムで管理するとともに、学校・公立図書館間で情報共有を行うことができた。	4
学事管理事務	3	学齢簿の管理や転学等の就学事務を円滑に実施することができた。さらに、学校予算のうち学事管理事務で一括計上できるものは予算を集約し、歳出の削減に努めた。	4
学びの質を高める授業づくり推進事業	3	指定校（2年次：橿形西小・甲西中 1年次：八田小）を定め、児童生徒が互いの意見や考え方を聴き合い、学び合う授業づくりを目指し研究を深めた。また、授業公開によって、研究内容を市内の小中学校に示した。年度末には教育委員会を主催とし、市内22校の教職員を対象とした成果報告会と講師を招聘しての教育講演会を実施した。	1
南アルプス自然体験推進事業	3	ユネスコエコスクールである芦安小・中学校を対象に南アルプス市の身近な自然を生かした体験学習を通して、児童生徒に南アルプス市の自然や伝統文化について学ばせる機会とした。小学校は夜叉神峠、栗沢山登山、中学校は北岳登山を中心とした学習に取り組んだ。	2
いじめ・不登校未然防止推進事業	2	小学校5年、中学校1年でQ-U検査を実施し、学級、学年の集団分析を行い、いじめや不登校の未然防止、早期解消に向け、その活用を図った。また、教育講演会を実施して困難を抱える児童生徒やその保護者の理解、学校としての支援のあり方等について研修を深めた。しかし、いじめについては、解消率が99%を超えるなどよい成果をあげたものの、不登校については、発生率が多くなってしまった。	2
スクールガードリーダー事業	3	児童生徒が安全に安心して登下校できるように、通学路の巡回や学校周辺のパトロールを実施した。また、県主催の研修会への参加及び打合せ会議の開催により、スクールガードの資質向上を図ることができた。	4
教育推進管理事務	3	指導主事等が研修に参加し、その成果を市内22校に還流しながら、必要な指導・助言を行った。また、国や県からの指導、教育雑誌から得られた最新情報、研究結果等を具体化し、学校訪問や研究会で提示した。	4
南アルプス市学校応援団育成事業	3	各中学校区のコーディネーターを中心に、地域ボランティアを募り、見守り隊を含め1,400名以上の登録を得た。特に、小学校においては読み聞かせや農業体験をはじめとした体験活動や環境整備等、学校の要望に対応した講師を派遣することができた。	4
小中学校教師用指導書・教師用教科書購入事業	3	新学習指導要領の移行期間に対応した教師用指導書及び令和元年度からの中学校道徳教科化に対応した教師用教科書と指導書を購入した。	2
学校災害補償保険事業	3	学校施設の瑕疵等、財物の滅失等の損害、学校管理下における児童生徒等の事故等の災害に対する保険に加入。	4
小中学校清掃委託事業	3	事務局へ予算を一括計上。入札により選定した業者により小中学校22校の校舎、体育館等の清掃を行い、快適な学校環境の維持向上に努めた。	4

所属 : 学校教育課

事務事業名	評点	評価の視点	教育振興 プラン 施策番号
第二次小中学校教育系 情報ネットワーク整備 事業	3	事務効率の向上のため教職員に1人1台PCの配置や校務支援システムの提供等を行い児童生徒と向き合う時間の確保に努めた。また、平成27年度に導入したタブレット型端末の保守及び教育ICT環境現地調査を行った。	4
若草南小学校情緒障害 通級指導教室	3	若草南小に設置されている通級指導教室に係る消耗品費等の経費。市立小学校の普通学級に所属する軽度の情緒障害児童を対象に音楽療法を行っている。	4
小中学校における小笠 原流礼法推進事業	3	小笠原流礼法宗家本部と関わりながら、礼法指導を行う2名の師範を市内小中学校22校に派遣した。心を育てることを主眼に置いた指導によって、小・中学校9年間を通じた取組となっている。教職員対象の実技講習や卒業証書授与伝達講習会等を実施し、指導にあたる教職員の理解度も高めてきた。	2
学校消火器管理事業	3	事務局予算へ一括計上。製造から10年を経過し、法令上期限切れとなる市立小中学校に設置済みの消火器の入替を行った。	4
外国語指導講師配置管 理事業	3	1名のアドバイザーと11名のALTを配置し、小・中学校において英語でのコミュニケーション指導を行った。通常の授業の他、教職員の英語力・指導力アップのための研修も行った。	1
小学校地域ふれあい道 徳教育推進事業	3	児童の「心の教育の充実」を図るため、地域の人々とのふれあいを中心とした道徳教育を行うための事業。1校当たり4万円の事業費。主に講師謝金に支出した。	2
小学校要保護就学援助 及び特別支援教育就学 奨励費事業（補助）	3	要保護世帯の児童3人の保護者に対し修学旅行費を、特別支援学級に在籍する児童47人の保護者に対し特別支援教育就学奨励費を支給し援助することができた。	4
小学校準要保護就学援 助事業（単独）	3	準要保護世帯の児童384人の保護者に対し就学援助費を支給することができた。さらに、新入学用品費の入学前支給も36人実施することができた。	4
中学校部活動コンクー ル・コンテスト参画事 業	3	芦安中学校を除く中学校の合唱部や吹奏楽部等が各種大会に参加するための負担金の支払いを行った。	4
中学校ヘルメット購入 支援事業	3	芦安中学校を除く自転車通学の生徒が補助対象。自転車通学の254人に対し、ヘルメット購入代金の半額を補助した。	4
中学校地域ふれあい道 徳教育推進事業	3	生徒の「心の教育の充実」を図るため、地域の人々とのふれあいを中心とした道徳教育を行うための事業。1校当たり4万円の事業費。主に講師謝金に支出した。	4
中学校関東大会・全国 大会支援事業	3	学校教育活動の一環として県外で行われる関東・全国大会に出場する経費の一部を補助した。	3

所属 : 学校教育課

事務事業名	評点	評価の視点	教育振興 プラン 施策番号
中学校要保護就学援助及び特別支援教育就学奨励費事業（補助）	3	要保護世帯の生徒4人の保護者に対し修学旅行費を、特別支援学級に在籍する生徒27人の保護者に対し特別支援教育就学奨励費を支給し援助することができた。	4
中学校準要保護就学援助事業（単独）	3	準要保護世帯の生徒229人の保護者に対し就学援助費を支給することができた。さらに、新入学用品費の入学前支給も67人実施することができた。	4
教育相談事業	3	多様化する児童生徒の諸問題に対し、臨床心理士と教育相談員を配置し、児童生徒及び保護者等の相談を行った。また、相談専用電話（ふれあいダイヤル）を相談窓口として開設し、広く周知した。相談件数は、来所38件、電話相談186件、訪問相談12件、巡回相談77件であった。	2
部活動指導員任用事業	3	白根巨摩中（テニス部）、白根御勅使中（ホッケー部）芦安中（バドミントン部）の部活動において外部指導員を雇用し、部活指導教員の支援及び生徒の技術等の向上を図ることができた。	3
小中一貫教育研究推進事業	4	芦安地区、八田地区に協議会を設置し、小中一貫教育の在り方について協議し、理解を深める中で当初より前倒しで2地区に小中一貫校を設置することができた。	4

所属 : 市立学校給食センター

事務事業名	評点	評価の視点	教育振興 プラン 施策番号
学校給食費徴収事業	3	99.07%の収納率を成果の指標として徴収率の向上を図り、徴収率は99.09%達成できた。	3
学校給食費支援事業	3	小中学校へ3人以上の子どもが通っている保護者を対象に支給した。申請者は194人、支給者は189人であった。学校との連絡を密に行い、市ホームページにも掲載して申請漏れのないように努めた。	3
北部学校給食センター給食事業（学校給食）	3	学校給食を安心安全に提供するため食文化の多様化による児童のアレルギー食の対応（27名）、食育指導（10校）を行った。また、食材の購入については、複数の業者から見積りを徴し、最安値の業者と月ごとに契約を行った。地産地消の食材についても、新たに地元農家のみやび農園、岡部農園、飯野農園と契約を締結した。	3
南部学校給食センター運営事業	3	学校給食を安心安全に提供するため食文化の多様化による児童のアレルギー食の対応（30人）、食育指導（12校）を行った。また、食材の購入については、複数の業者から見積りを徴し、最安値の業者と月ごとに契約を行った。地産地消の食材についても、新たに地元農家のみやび農園、岡部農園、飯野農園と契約を締結した。	3

(5) 基本政策 : 4 心豊かな人と文化をはぐくむまちの形成

施策名 : 22 青少年の健全育成 (9事業)

所属 : 生涯学習課

事務事業名	評点	評価の視点	教育振興 プラン 施策番号
青少年育成コーディネーター設置事業	3	平成29年度から名称を「青少年育成コーディネーター」と改めた。市民会議の掲げる、「青少年の健全育成活動を推進」するため、地域、市民団体、学校、行政の連絡、調整を担い、さらに、各支部の事務局となって事業を推進している。	7
青少年育成推進会議運営事業	3	青少年育成推進員111人(定員112人)が、青少年育成活動に取り組んでいる。市民会議の専門委員会にも所属し、青少年の健全育成運動を広く展開している。また、研修会の実施や子どもの夏季、冬季休業期間にはチラシを配布し、啓発活動を行っている。	7
ジュニアリーダー養成事業	3	中高校生を対象に、地域や学校でリーダーとして活躍できる子どもを育成するため、月1回の研修会を開催している。夏季研修では、次期リーダーとなる小学6年生も参加し、52人がリーダー研修会に参加した。	7
成人式挙行事業	3	新成人の門出を祝うため、毎年1月に式典を開催している。成人者820人中661人、参加率80.06%(前年841人中703人参加。参加率83.59%)	7
市子どもクラブ指導者連絡協議会支援事業	2	子どもたちの育成事業を、地区ごとに実施している(76団体)。親睦球技大会(ドッチボール)は子どもが集まらない状況である。近年は参加団体が減少し、平成30年度は白根、若草から16チームのみであった。子ども映画上映会の参加者は308人。	7
南アルプス市警察署管内少年補導員支援事業	3	少年の非行防止活動の推進及び、各種防犯団体の活動支援や関係団体の連携を図ることを目的として協議会への補助金を交付。	7
キッズタウン南アルプス支援事業	3	職業体験をベースとした青少年育成事業への補助金。平成29年度参加者は小学生約134人であったが、平成30年度203人であった。参加者は、地域の事業者や職人の仕事を体感し、憧れや興味を抱き、地域の伝統や仕事の大切さを学んだ。	7
情報機器教育推進事業	3	平成28年度よりSNS利用やネット環境、携帯電話の使用についての学習会、講演会を開催している。毎年、冊子を作成して小学5年生以上中学5年生に配布。市内小中学校においては学習会を実施し、注意喚起を促している(年間4校、輪番表にて随時実施)。	7
青少年育成南アルプス市民会議支援事業	4	青少年の健全育成のため、山積する課題や諸問題について、市民全体で考え様々な活動を展開している。平成28年度に市民会議を一本化して目的が明確になり、各支部の活動が活発になり参加者が増加している。市に本部を置き、各地区を「支部」と改め、支部へ補助金を出して地区ごとの取り組みを支援しているため、活動のしやすい環境が整っている。	7